

ふれあい福祉

P2~3 ボランティア研修会、
賛助会員会費等

P4~5 赤い羽根共同募金、
歳末たすけあい募金

P6 ふれあいサロン交流会

P7 私の町のふくし人[vol.6]

P8 地域福祉活動報告

P9~10 お知らせ

P11~12 寄附者一覧、編集後記

福祉出前講座



ふくしの芽が
すくすくと育っています



写真は市内の各小学校で実施した福祉
出前講座の様子。
※ 8 ページに有漢東小での講座を紹介。

ボランティア研修会

2/16

テーマ『みんなで作る つながり と ささえあいの地域づくり』

2月16日、高梁市文化交流館で、潜在的なボランティアの発掘とさらなる活動の活性化を図ることを目的にボランティア研修会を開催しました。ボランティア団体やサロン団体関係者をはじめ、多くの市民の参加がありました。

実践発表

★居場所づくり応援プログラム・ワンデイカフェ

美咲町の公会堂や空家を利用したワンデイカフェ。これは美咲町社協が推進する「居場所づくり応援プログラム」のもと、地域や世代を超えて誰でも気軽に集える居場所づくりに取り組んでいるもので、2団体の代表者から発表がありました。ここにココカフェの村上三子さんは「いろいろな方が参加できるよう工夫しながら、大切に続けていきたい。困った時に“助けて”と言える地域・見守り隊になれるよう各団体と手を携え頑張りたい」と話されました。



ここにココカフェ(打穴見守り隊)
代表 村上 三子さん
えよみ友楽館
代表 大倉 敏江さん

★宇治総働のまちづくり

宇治地域まちづくり推進委員会では、平成27年度から宇治リスタート事業として、『人』をテーマに5つの項目を掲げたアクションプランを作成。「みんなの居場所プロジェクト」として宇治カフェの実施、「移住者交流プロジェクト」として地域の魅力発信や移住者受け入れ支援活動に取り組み、雑煮サミットや東西鉄板焼き対決といった楽しい交流企画も実施しています。

中曾さんは「支え合える地域の将来に向け、家族、仲間、地域の皆さんと知恵を出し合い、住み続けたい宇治町を次世代へつないでいきたい」と話されました。



宇治地域まちづくり
推進委員会
中曾 まゆみさん

記念講演

★パワフルおばちゃんのこと

どいこの場づくり奮闘記
いろいろな人とつながると人生楽しくなる

兵庫県西宮市の民家で、介護家族や高齢者福祉に関わる人たちの交流スペースとして、「つどい場さくらちゃん」を多くのボランティアとともに運営する丸尾多重子さん。「高齢化時代に必要なのは『きょうい』と『きょうつ』。自分が必要とされる、今日行くところ 今日用事があること。自分のできることをして、時には支えてもらう。いろいろな人が交わって地域で生きていけたら人生は楽しくなる」と話されました。

家族3人を在宅で看取った体験に基く講演は、参加者が地域のために「何かできないか」を考える機会となりました。



特定非営利活動法人
つどい場さくらちゃん
理事長 丸尾 多重子さん

参加者の声

- ・私の地域でも小さなことから何か始めることができたい。
- ・家の中にこもらず外に出ているいろいろな人とつながってきたい。
- ・自分にもできることがあればお手伝いしたい。
- ・高齢化が進む中、みんなが集える場所が必要だと実感した。

などの感想が寄せられました。



ボランティアセンターからのお知らせ

平成 29 年度ボランティア登録およびボランティア活動保険について

ボランティアセンター登録団体の活動内容等については、市社協ホームページで紹介しています。最新の情報を提供するため、年度ごとに登録申請が必要になりますので、ボランティア団体の皆さんは平成 29 年度用の申請手続きをお願いいたします。



また、平成 28 年度のボランティア活動保険の補償期間が平成 29 年 3 月 31 日で終了となります。

4 月 1 日から活動される団体・個人の方は、3 月 31 日までに市社協（地域福祉課・各支所）で保険加入の手続きをお願いします。なお、平成 29 年度のボランティア保険料等については、下記のとおり一部改訂となっておりますのでご確認ください。

改訂点

- ・Aプラン、Bプランの基本タイプ、天災タイプともに保険料を改訂します。
- ・Aプランの死亡保険金および後遺障害保険金（限度額）を改訂します。

の部分が改訂

ご加入プラン		平成 28 年度		平成 29 年度		
		Aプラン	Bプラン	Aプラン	Bプラン	
保険金額	死亡保険金	1,200 万円	1,800 万円	1,320 万円	1,800 万円	
	後遺障害保険金	1,200 万円 (限度額)	1,800 万円 (限度額)	1,320 万円 (限度額)	1,800 万円 (限度額)	
	入院保険金日額	6,500 円	10,000 円	6,500 円	10,000 円	
	手術 保険金	入院手術	65,000 円	100,000 円	65,000 円	100,000 円
		外来手術	32,500 円	50,000 円	32,500 円	50,000 円
	通院保険金日額	4,000 円	6,000 円	4,000 円	6,000 円	
	賠償責任保険金 (対人・対物共通)	5 億円	5 億円	5 億円	5 億円	
保険料	基本タイプ	300 円	450 円	350 円	510 円	
	天災タイプ	430 円	650 円	500 円	710 円	

平成 28 年度 賛助会員会費について

市内外の方々へご協力をお願いしております。平成 28 年度の賛助会員会費について、多くの皆さまからのご理解ご協力を賜り、ありがとうございます。

この会費は、「ふれあいサロン事業」や「敬老事業」などの地域福祉活動を推進していく上で、欠かせない貴重な財源となっております。

引き続き、賛助会員を募っておりますので、会員制度の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

平成28年度 賛助会費 協力の状況
(平成 29 年 2 月 28 日現在)

会員区分	件数(人)	金額(円)
普通会員	6,709	7,101,000
法人会員	274	897,000
ふるさと会員	73	247,000
特別会員	10	50,000
合計	7,066	8,295,000

赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金にご協力いただきありがとうございました



歳末たすけあい募金 実績報告



皆さまからお寄せいただいた募金は、今年度も在宅で暮らしておられる重度の要介護者や難病者等306名の方へ慰問金としてお届けしました。

また、年末年始に援助活動に携わるボランティア団体や福祉団体13団体へ活動費を助成しました。

募金区分	募金額(円)
戸別募金	2,259,071
個人募金	14,770
その他の募金	57,340
合計	2,331,181

赤い羽根共同募金 実績報告

皆さまのあたたかいご協力により、目標額を上回る募金が集まりました。

寄せられた募金は、平成29年度に社会福祉協議会や民間福祉施設等に配分されます。皆さまのお住まいの地域で幅広く活用され、地域福祉の推進に役立らせていただきます。

募金区分	募金額(円)
戸別募金	4,078,550
街頭募金	77,238
法人募金	710,100
学校募金	9,393
職域募金	679,000
イベント募金	155,044
個人募金	9,250
その他の募金	25,637
合計	5,744,212

「赤い羽根 まちづくり福祉活動助成事業」の助成金申請を受付けます



高梁市共同募金委員会では、地域福祉の充実を図るため、住民相互の「たすけあい」地域福祉活動を積極的に取り組む団体等の活動および地域の安全・安心な暮らしを住民とともにつくる住民活動を支援しています。助成金を希望される団体は、申請書の提出をお願いいたします。

☆助成対象団体

高梁市内において、原則1年以上の継続した活動が見込めること。また、団体等の運営が住民を主体とした組織で、自主性、自立性を有し、事業計画および会計状況が明らかであること。

☆事業対象活動

ご近所ネットワーク活動の充実、声かけ・見守り活動の充実、福祉マップづくり、すでに実施しているサロン活動充実のための新たな取り組み、自主防犯・自主防災活動のために、年間を通じて必要なパトロール用資材およびユニフォーム等の整備、その他活動効果が期待される新たな地域福祉活動

- ※対象外活動 おおむね50世帯以下の規模および次に該当する活動
- 介護保険の対象となる活動
 - 同内容の助成を受けている活動
 - 機器・器具類の整備、掲示板等の設置などのハード事業

☆助成金額・・・1団体あたり10万円以内

☆実施期間・・・平成29年4月1日～平成30年3月31日

☆申請期間・・・平成29年4月1日～5月31日

問い合わせ

地域福祉課 ☎227243
川上支所 ☎489770

有漢支所 ☎573218
備中支所 ☎453131

成羽支所 ☎422005

歳末たすけあい募金で広がる地域の絆



☆高梁市手話ボランティアの会 (クリスマス交流会)

市内の手話サークルと養成講座生等が参加して手話劇や歌の披露や、簡単な体操をして楽しく交流しました。聴覚障害者の方の参加が増えていることを大変うれしく思っています。



☆有漢町ボランティアあじさいの会 (友愛訪問)

75歳以上の一人暮らしの方へ手作りのお寿司を持って友愛訪問し、日ごろの様子をお聞きしました。



☆宇治婦人会 (おはぎづくり)



宇治地区の75歳以上の一人暮らしの方、80歳以上の二人暮らしの方78人におはぎを持って訪問しました。



☆川上地区歳末友愛訪問ボランティア (友愛訪問)

川上地区で75歳以上の一人暮らしの方にボランティアで弁当を作り、安否確認を兼ねた友愛訪問をしました。



☆川関婦人会 (高齢者訪問)

80歳以上の高齢者、一人暮らしの方50人に、心を込めてお弁当を作り、訪問しました。皆さん、大変喜んでくださいました。



☆備中町ヘルスボランティア連絡会 (歳末慰問)

80歳以上の一人暮らしおよび夫婦のみの世帯を対象に、おせち料理等を作りお届けしました。



☆かぐら街道布寄直売所 (餅つき)

会員が収穫したもち米で施設の入所者と餅つきをしました。とりつけ餅等を作り、健康のことなど話しながら、交流しました。



☆高梁市身体障害者福祉協会 (歳末激励慰問)

身体に障害を持たれている方を慰問しました。

☆あざみボランティア (生活支援と交流)

年末年始を察で過ごす入所者の方を訪問し、クリスマス会をして交流を深めました。

☆備北商工会女性部 (老人ホーム等慰問)

寒い冬を元気に過ごしていただきたいと、クリスマスプレゼントを持って成羽地域内の施設を慰問し、みなさんと一緒に楽しいひとときを過ごしました。

☆四ツ葉の会 (年末年始慰問)

施設を訪問して、寮生とクリスマス会、新年会をして交流を深めました。

☆ひまわりボランティア (年末年始慰問)

施設を訪問して、寮生とクリスマス会、忘年会、新年会をして交流を深めました。

☆ラベンダーボランティア (生活支援と交流)

年末年始を施設や寮で過ごす入所者の方を訪問し、交流を図りました。

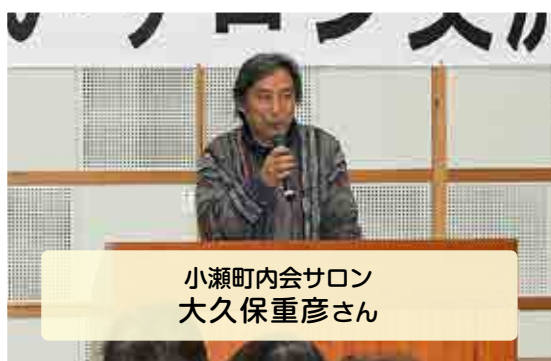


1/30 ふれあいサロン交流会

ふれあいサロンは、外出することや集まる機会の少ない高齢者の方などが、身近な集会所などに集まってふれあう中で、人と人とのつながりの輪を深めていく「地域のふれあいの場」です。

サロン同士の交流・情報交換の場として開催した交流会には、市内 128 の実施団体のうち、54 団体 58 名が参加。実践発表では、小瀬町内会サロン（落合町）、コスモス会（成羽町）によるサロンの取り組みや多くの人に参加してもらうための工夫などの発表がありました。また、吉備国際大学の佐藤三矢先生による、サロンで行える肩こり・腰痛改善の体操等の指導も行われました。

この交流会を通して、サロン同士のつながりや共有したアイデアや工夫を各サロンでの今後の活動に生かしていただきたいと思います。



グループワークで 出た意見

- 自分たちのサロンは男性中心で頑張っている。定年になった人に声を掛けるなどの工夫により、参加者を増やしている。
- 直接会って参加を呼びかけるなどの工夫をしている。
- 参加していて楽しいと思えることが一番いいこと！
- サロンで体操を取り入れたい！ などなど

お知らせ

年度末が近づいてきました。今年度の活動が終了したサロン団体の皆さんは、**実績報告書**の提出をお願いします。また、平成 29 年度申請分から、**交付決定後の活動を対象とします**ので、**早めの申請手続きをお願いします**。ご不明な点は気軽にお問い合わせください。

問い合わせ

地域福祉課 ☎22 7243
川上支所 ☎48 9770

有漢支所 ☎57 3218
備中支所 ☎45 3131

成羽支所 ☎42 2005

私の町のふくし人 vol.6

ふくしとは、**ふ**ふつう(普段)の**く**暮らしが**し**幸せであること。と言われています。
このコーナーでは、そんな福祉のまちづくりのために地域で頑張っておられる方を紹介していきます。



川崎 幹子さん

今回のふくし人は、宇治町の福祉委員連絡会会長・川崎幹子さんです。

過疎高齢化の進む宇治町で地域福祉活動に関わり20年。「人に惚れ」「地域に惚れ」「やっっていることに惚れ」、私流の三惚主義を貫き活動してきました。

平成7年に民生委員を引き受けました。地域で週4回の配食支援活動に取り組むこととなりボランティアを募り、平成10年、民生委員6名と合わせた23名で配食ボランティア「こごびぎき会」を結成し、



この年から地区社協事業のふれあいの場として、「福祉のつどい」を年1回開催することになりました。



もともと、80名の会員で地域のために頑張っています。
平成14年、地区社協会長を引き受け、

活動をスタートさせました。
平成15年には全地域へボランティア会員の募集を行い、地域ボランティア「こごびぎき会」へと組織体制を整えました。現在は4代目会長の



平成19年からは作品展も計画し、まちづくり文化部と共催で「宇治ふれあいの集い」と改め実施しています。年々内容も充実し、地域の皆さんの楽しみの一つになってきたことはとてもうれしいことです。
平成22年に民生委員を退任しましたが、自分から申し出て翌年から福祉委員になりました。年々町内会が弱体し、近所付き合いも疎遠になっていく状況で、今後の町内会の活動のあり方を模索していく機会になればと、4町内会でサロン活動に取り組んでいます。サロンは、毎月第3火曜日を定例日に年10



回実施しています。

ふれあいで『和』ができ、心が通じ合えば自然に助け合い、支え合いは生まれてくると思います。

『和』が大きな『輪』になっていくことを期待し、サロンを続けていきたいです。



地域福祉活動報告

有漢東小学校・福祉出前講座を開催

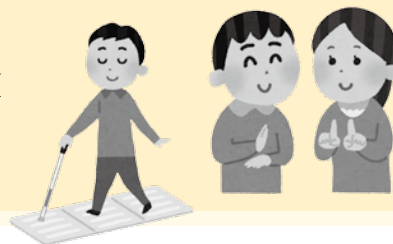
1/26



市社協では市内の地域や学校に出向いて福祉出前講座を行っています。有漢東小学校の3・4年生が、福祉体験活動として手話体験とアイマスク体験を行いました。

高梁市手話ボランティアの会の方を講師に招いての手話体験では、聴覚障害のある会員による生活の工夫や大変なことといった手話を交えた講話のほか、あいさつや自分の名前などの簡単な手話も教わり、一人ずつ自己紹介をしました。

その後アイマスク体験として、2人1組になって白杖を使いながら階段の昇降などを行いました。「前が見えないので怖かったがガイドの人がいることで安心できた」「声をかけることが大切だと分かった」など、体験を通して感じた児童たちの声が聞かれました。



2/15

備中デイサービスセンター・備中中学校へ「ありがとう」

今年度末で閉校し成羽中学校へ統合となる備中中学校の皆さんへ、長年の清掃ボランティアに対するお礼を伝えようと、手作りのプレゼントをもってデイサービス利用者が訪問しました。

プレゼントの折り薔薇の壁飾りは、『ありがとう』の気持ちと、これからも勉学にスポーツにと活躍されることを願って、利用者が毎日コツコツと作りあげたものです。

利用者は「清掃ボランティアのおかげで気持ちよく過ごすことができました。これからも頑張ってください」。また、生徒からは「清掃ボランティアでは清々しい気持ちになりましたが、今もその気持ちは変わっていません。成羽でも頑張ります」とお互いにお礼の言葉を交わしました。



人事異動

平成29年1月31日付

【退職】

▼地域福祉課主幹（シルバー人材センター）担当＝大樫 達己

平成29年3月1日付

【新規採用】

▼地域福祉課主幹（シルバー人材センター）担当＝富谷 武

ふれあい相談について

★福祉総合相談

毎週月～金曜日

（祝日を除く）

午前8時30分から

午後5時15分まで

※随時相談に応じます。

また、プライバシーは完全に守られます。お気軽にどうぞ。

お問い合わせ先

地域福祉課	☎ 22	7243
有漢支所	☎ 57	3218
成羽支所	☎ 42	2005
川上支所	☎ 48	9770
備中支所	☎ 45	3131

福祉委員の選出について

市社協では、住民の皆さんが安心して暮らせるよう、各町内会で見守りや声かけ活動を行う福祉委員の選出をお願いしています。

平成29年度についても、各町内会から福祉委員を選出いただき、福祉委員選出届を提出いただきますようお願いします。

なお、福祉委員を交代される場合は、お渡ししている福祉委員証を返却いただきますようお願いします。

☆福祉委員選出届の提出および福祉委員証の返却先

- ・地域福祉課および各支所
- ・各地域市民センター



高梁市生活あんしんサポートセンター

市社協では経済的問題、健康問題、家庭問題等さまざまな問題を抱えている方々の相談に応じ、必要な支援等を行うための相談支援窓口「高梁市生活あんしんサポートセンター」を開設しています。

☆相談日等は次のとおりです

場 所：高梁総合福祉センター

☎ 229111（直通） FAX 220845

相談日時：月曜日から金曜日

午前9時から午後5時まで

休業日：土・日曜日、祝日、年末年始



レクリエーション用具の寄贈について

3月6日、高梁小学校児童会よりボランティア活動の一環として取組んでいるアルミ缶回収による収益金で購入されたレクリエーション用具の寄贈がありました。

寄贈いただいた用具は、ふれあいサロン等の地域福祉活動に幅広く活用させていただきます。



お知らせについてのお問い合わせ先はこちら

地域福祉課	☎ 22	7243
有漢支所	☎ 57	3218
成羽支所	☎ 42	2005
川上支所	☎ 48	9770
備中支所	☎ 45	3131

登録ヘルパー・介護職員募集中

あなたの笑顔と優しさを必要としている多くの人が市内にいます。
ヘルパーの資格は持っているけれどヘルパーとして一度も働いたことがない。
フルタイムは難しいが短い時間なら働ける。介護の仕事で昔働いていたブランクのある方も大歓迎。

社会福祉協議会では、登録ヘルパーと介護職員を募集しています。



	登録ヘルパー	介護職員
雇用形態	パート	臨時職員
仕事の内容	訪問介護（利用者宅へ訪問しての生活援助・身体介護等のホームヘルパー業務）	介護業務・調理業務（入居者の日常生活上のお世話と機能訓練、調理業務）
勤務地	高梁市内の利用者宅 （利用者宅へは自家用車を使用していただきます）	グループホームささゆり苑 高梁市成羽町長地 453 番地 5
募集人員	大募集	2 名
資格	・ヘルパー 2 級以上・介護職員初任者研修修了者 ・介護福祉士・准看護師・正看護師 （上記いずれか一つの資格を有する方）	不問 （経験者歓迎）
年齢	不問	
就労時間 休日等	原則 月～金曜日（8：30～17：15の間）	① 8：30～17：15 ② 7：00～15：45 ③ 11：00～19：45 ④ 16：00～9：30 交代制勤務（週休 2 日）6 ヶ月経過後の有休 10 日間
雇用期間	年度更新	原則 年度更新
賃金・手当等	賃金 時給制 加算・諸手当：時間外・休日加算、活動・交通・研修・移動手当有り	月額 142,500 円～169,800 円 （月平均労働日数 20 日の場合） 賞与：年 2 回 交通費
選考方法	面接	

【問合せ先】（登録ヘルパー関係）高梁市社会福祉協議会 介護保険課 ☎ 22-7244
（介護職員関係）グループホームささゆり苑 ☎ 29-9112

☆ヘルパー・介護職員の役割とは

利用者の身の回りのお世話をするとともに、心身の活性化を図るためにさまざまな援助を行うことです。

- 高齢者の心理を理解し、よき相談者となること
- 健康、衛生管理を行うとともに状態を把握すること
- 担当者間のチームケアを図り情報を共有すること
- 守秘義務を守ること

ホームヘルパーや
介護職員は、常に人に
接しての仕事です。
他人を好きになることが、
この仕事の第一歩。



でも深く考えないで、皆さん、私たちといっしょに働いてみませんか！

社会福祉協議会へのご寄附

ありがとうございました。

平成29年
1月~2月

社会福祉法人高梁市社会福祉協議会へ平成29年1月と2月にいただいたご寄附についてお知らせします。
心から感謝申し上げ社会福祉事業に活用させていただきます。
なお、金額等については寄附者の意向によって掲載しています。(敬称は略させていただきます。)

〔香典・玉串料・御花料返〕

《高梁支会》

《高梁地区》

- 金一封 落合町 西平 博行
- 金一封 落合町 (故・仁様)
- 金一封 浜町 井元 裕一
- 金一封 浜町 (故・伸一様)
- 金一封 間之町 徳田 勝俊
- 金一封 間之町 (故・志げ子様)
- 金一封 栄町 西 義典
- 金一封 栄町 (故・悦子様)
- 金一封 八幡町 黒瀬 螢子
- 金一封 八幡町 (故・官治様)
- 金一封 鍛冶町 仁後 巨
- 金一封 鍛冶町 (故・辰野様)
- 金一封 奥万田町 三村 眞一
- 金一封 奥万田町 (故・欣一様)
- 金一封 奥万田町 木口 久
- 金一封 奥万田町 (故・禱様)
- 金一封 下谷町 笹田 良平
- 金一封 下谷町 (故・一夫様)
- 金一封 中井町 内藤 勝己
- 金一封 中井町 (故・イツ子様)
- 金一封 高倉町 福田 鉄雄
- 金一封 高倉町 (故・幸子様)
- 金一封 松山 植野由美子
- 金一封 松山 (故・春子様)
- 金一封 津川町 葛原 賢市
- 金一封 津川町 (故・正様)
- 金一封 中原町 平松 陽子
- 金一封 中原町 (故・美智恵様)
- 金一封 巨瀬町 難波 葵
- 金一封 巨瀬町 (故・基枝様)
- 金一封 下町 小林 秀明
- 金一封 下町 (故・初枝様)

- 金一封 中井町 中村 俊夫
- 金一封 中井町 (故・須恵野様)
- 金一封 川面町 小林 喬
- 金一封 川面町 (故・智津子様)
- 金一封 津川町 小野雄之進
- 金一封 津川町 (故・伸吾様)

《津川地区》

- 金一封 津川町 藤井 幸一
- 金一封 津川町 (故・英子様)
- 金一封 津川町 鷲森 泰昭
- 金一封 津川町 (故・ミヤ子様)
- 金一封 津川町 葛原 賢市
- 金一封 津川町 (故・正様)
- 金一封 津川町 大森 唯史
- 金一封 津川町 (故・仁志様)
- 金一封 津川町 小野雄之進
- 金一封 津川町 (故・伸吾様)

- 金一封 中井町 中村 俊夫
- 金一封 中井町 (故・須恵野様)
- 金一封 中井町 横山 哲郎
- 金一封 中井町 (故・久子様)

《玉川地区》

- 金一封 玉川町 渡辺 嘉久
- 金一封 玉川町 (故・光治様)
- 金一封 玉川町 林 信男
- 金一封 玉川町 (故・清子様)
- 金一封 玉川町 中山 利子
- 金一封 玉川町 (故・重男様)

- 金一封 有漢 信清 康尚
- 金一封 有漢 (故・利浩様)
- 金一封 有漢 田中 保博
- 金一封 有漢 (故・一将様)
- 金一封 有漢 湯浅 政志
- 金一封 有漢 (故・正雄様)
- 金一封 有漢 島田 保弘
- 金一封 有漢 (故・茂登美様)
- 金一封 有漢 藤森 宣博
- 金一封 有漢 (故・定子様)
- 金一封 有漢 鈴木 只夫
- 金一封 有漢 (故・君子様)
- 金一封 有漢 山本 明雄
- 金一封 有漢 (故・久枝様)
- 金一封 有漢 河田 徹
- 金一封 有漢 (故・年子様)
- 金一封 有漢 徳田 公男
- 金一封 有漢 (故・うめ乃様)
- 金一封 有漢 小林 宏清
- 金一封 有漢 (故・由明様)

《高倉地区》

- 金一封 高倉町 福田 鉄雄
- 金一封 高倉町 (故・幸子様)

《落合地区》

- 金一封 落合町 西平 博行
- 金一封 落合町 (故・仁様)
- 金一封 落合町 西 藤太郎
- 金一封 落合町 (故・昌代様)

《有漢支会》

- 金一封 名古屋市 平松 知之
- 金一封 名古屋市 (故・彰様)
- 金一封 有漢 佐倉 猶接
- 金一封 有漢 (故・久代様)

《成羽支会》

- 金一封 吹屋 延命寺護持会
- 金一封 吹屋 (故・中山純雄様)
- 金一封 下原川上 啓吾
- 金一封 下原川上 (故・一二様)
- 金一封 成羽 村上 伸幸
- 金一封 成羽 (故・八千代様)
- 金一封 成羽 干田尾 寿
- 金一封 成羽 (故・巳智様)
- 金一封 下日名 黒川 昌光
- 金一封 下日名 (故・春子様)
- 金一封 下原 石原 和幸
- 金一封 下原 (故・昭雄様)

金一封 落合町 加藤 和宏
(故・保様)

金一封 成羽 相原 隆司
(故・裕様)

金一封 下原 川上 敬郎
(故・初恵様)

金一封 坂本 田中 数馬
(故・暉一様)

金一封 坂本 田中 数馬
(故・品代様)

金一封 奈良県 龜山 淳美
(故・河内正道様)

金一封 下原 丸川 泰司
(故・隆志様)

金一封 羽山 黒川 英雄
(故・ツル子様)

《川上支会》

金一封 臘 数 西井 正喜
(故・晟様)

金一封 仁 賀 杉本 喜昭
(故・富子様)

金一封 仁 賀 金尾 伯幸
(故・善一様)

金一封 仁 賀 三宅 邦夫
(故・安壽様)

金一封 仁 賀 龜石 幸治
(故・幸雄様)

金一封 上天竹 宮嶋 正弘
(故・クマノ様)

金一封 上天竹 山室 長逸
(故・絹子様)

金一封 上天竹 大田 幸男
(故・保枝様)

金一封 仁 賀 池田 一晃
(故・ハジメ様)

金一封 七地 三原 忠雄
(故・一枝様)

金一封 下大竹 堀江 明
(故・次子様)

金一封 仁 賀 清水 利昭
(故・恭雄様)

金一封 上天竹 三宅 資郎
(故・智登子様)

金一封 地頭 藤原 智徳
(故・勲様)

《備中支会》

金一封 布 賀 河野 常男
(故・チエコ様)

金一封 東油野 中曾 浩徳
(故・キクコ様)

金一封 倉敷市 戸川 善良
(故・正雄様)

金一封 布 賀 呉川 和江
(故・学様)

金一封 福山市 近藤 改子
(故・杉田澤二様)

金一封 東油野 赤木 源一
(故・文子様)

金一封 西油野 田村 光義
(故・芳子様)

金一封 長屋 前原 英之
(故・詎士様)

金一封 布 賀 山下 明男
(故・アヤコ様)

【一般寄附】

《高梁支会》

《高梁地区》

金一封 匿名
(社会奉仕として 第392回、第393回目)

《中井地区》

金一封 中井町 岩本 公男
(退院内祝いとして)

《川上支会》

金一封 高山 森脇 寿夫
(退院内祝いとして)

金一封 高山市 加上 清子
(退院内祝いとして)

金一封 上天竹 岡崎 篤二
(退院内祝いとして)

金一封 岡山市 難波 捧
(その他一般寄附として)

金一封 七地 大塚 孝子
(退院内祝いとして)

金一封 三沢 難波 照幸
(退院内祝いとして)

金一封 領家 森川 弘之
(退院内祝いとして)

《備中支会》

金一封 布 賀 前原 禎江
(退院内祝いとして)

金一封 布 賀 物部貴巳子
(退院内祝いとして)

金一封 平川 匿名
(その他一般寄附として)

編集後記

朝晩は相変わらず寒い日が続きますが、少しずつ暖かい日差しのおさず日も増えてきました。花粉症の方にはつらい季節ですが、外出の際には、しっかりと対策をして春を楽しみましょう。

さて、今号2ページに掲載しております「ボランティア研修会」で講演をいただいた丸尾多恵子さんのお話では、『この場所』づくりの必要性について改めて考える機会になりました。本市でも、地域のふれあいの場づくりを目的に推進している「ふれあいサロン」は、町内会を中心に128団体が取組んでいます。また、各地区社協では、誰でも気軽にちよつと一息つける場所「コミュニティカフェ」が現在6地域でスタートし、徐々に広がりを見せているところです。

丸尾さんが話された「さまざま垣根を取っ払って、みんなが交わりながら地域の情報交換ができる場所」が増えていけば、より一人ひとりの気持ちが尊重される地域になると思います。

皆さんは、10年後20年後どんな高梁市で暮らしたいでしょうか。高齢者になっても、障がいがあっても、できる限り住み慣れた地域で生活ができるよう、今後皆さんと一緒に考え、福祉のまちづくりを進めてまいりますのでよろしくお願ひします。(S)

この広報紙は、寄附金の一部を活用して発行しています